

学校便り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>

あきらめない気持ち

校長 山崎 久美

今年の夏休みは、コロナ感染症が急拡大して東京都の緊急事態宣言が継続され、9月12日まで続くことになりました。2年連続のコロナ禍での夏となり、生徒たちは制限の多い生活になったことと思います。昨年と大きく異なるのは、コロナのために1年間延期されたオリンピック・パラリンピックが開催されたということではないでしょうか。これまで東京都では、平成28年度より「東京オリンピック・パラリンピック教育」を教育課程に位置づけて実施してきました。その1つでもあるパラリンピック学校連携観戦は、教育的意義が高く、安全対策をとって何とか実施できないかと考えていましたが、災害級の感染拡大状況を鑑み中止とさせていただきます。9月5日まで行われるパラリンピックを教育活動に取り入れ、生徒にレガシーが伝わるようにしていきます。

東京オリンピックは、無観客の中33競技、339種目が行われました。新たに加わった競技も多く、日本人の活躍から知った競技もあったのではないのでしょうか。オリ・パラ教育では、運動・スポーツを「する」ことに加えて「みる、知る、支える」についても取り組んできました。オリンピック・パラリンピックの開催を機に、「する、みる、知る、支える」を通じた運動やスポーツの楽しみを見つけてほしいと思います。合わせてオリ・パラの選手の活躍する姿から「夢に向けてあきらめない気持ち」「対戦者を称えあう気持ち」「周囲の方へ感謝する気持ち」を感じることができ、たくさんの感動をもらいました。金メダルを取得した卓球、混合ダブルスの水谷・伊藤ペアが、準々決勝のドイツ戦で最終セット2-9から大逆転をした試合より「あきらめない気持ち」の重要性を痛感しました。本校の生徒たちも将来に向けての夢や希望があると思います。ぜひ、生徒たちも自身の夢や希望に向けて、努力を続け「あきらめず」に、夢や希望に向かって進んでほしいと思います。

さて、緊急事態宣言中の2学期開始となります。これまでの感染状況と異なるのは、感染力が非常に強いといわれているデルタ株への置き換わりにより、都内の高校生への感染が急増していることです。9月末までを「対策強化月間」と位置付け、換気の徹底等、校内の感染症対策を強化してまいります。今学期も教育活動への御理解・御協力よろしくお願いたします。

2学期の学校生活を見据えて

副校長 今野 昌人

7月21日に本校では、社会福祉法人原町成年寮フォレスト所長 高橋成幸様を講師にお迎えして、『特別支援教育と就労移行支援』をテーマに進路部・支援部研修として実施いたしました。講師の高橋成幸様からは、研修のゴールとして「今できることはどんなことがありそうか」について、たくさんの事例を交え全教員が考えながら学ぶ貴重な研修となりました。その中で、本校でも共通認識として考えて取り組みたいと思ったお話がありました。就労移行支援フォレストでの事例のお話しでしたが、ある学習教材を朝のプログラムで取り組みますが、勉強ができるようになることが目的ではないそうです。その学習では100点を取り「おめでとうございます！」と本人に伝えられることが目的だということでした。このような取り組みを意図的にいくつも設定することで、本人の意欲や人と関わろうとする姿勢に変化が見られたそうです。学習を通してできることが増え自信につながり自己肯定感が高まり意欲的な気持ちを育むことを本校でも大切にしたいと思います。さて、新型コロナウイルス感染症の拡大はいまだ収束の見通しが立ちません。また、これまで以上に感染予防の徹底が必要な状況となりました。東京都教育委員会からはマスクについて、不織布マスクが最も高い効果を持つことを踏まえて不織布マスクの使用を基本とし指導するように通知がありました。今後も、感染予防を徹底し学習活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。